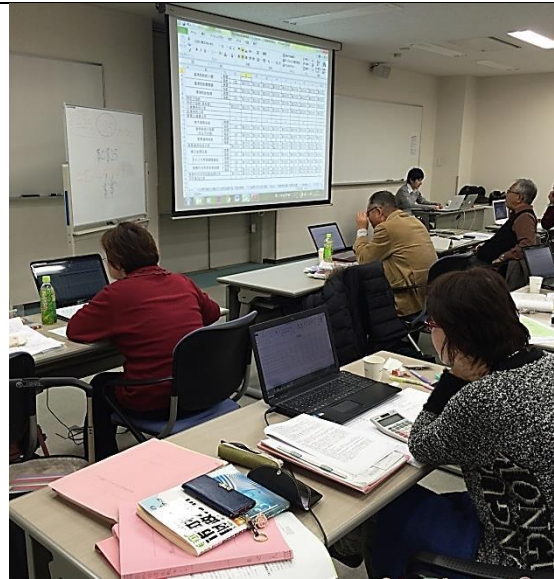


# Excel で学ぶ 財政分析講座

2017. 2. 5~7

## 歳入/歳出編カリキュラム



2月5日(日)

### 第1講 なぜ市町村議員が市民にわかりやすく財政を説明しなくてはならないのか

13:00~14:00

・いま、議会基本条例や自治基本条例を策定する動きの中で市町村議員がわかりやすくわがまちの財政を伝えることが求められています。財政をわかりやすく表現し伝える手法を一緒に考えませんか。

### 第2講 わがまちはやりくり上手? 14:15~15:45

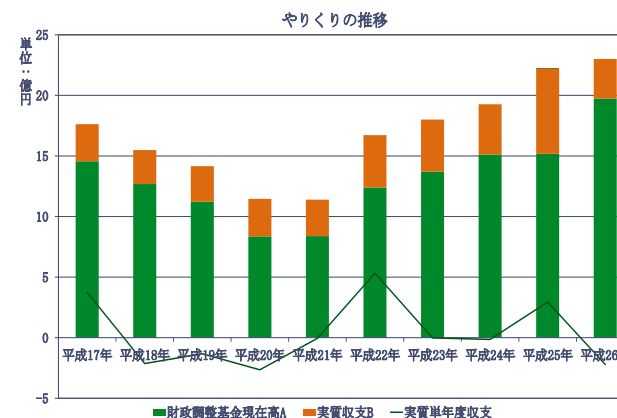
・自治体財政には様々な「収支」の表し方があります。そのそれぞれを検討し、わがまちの財政が赤字か黒字か経年的に見ていきましょう。さらに、「収支」の裏側にある自治体の「やりくり」を吟味することで、より良い自治体財政運営のあり方を考えましょう。

### 第3講 わがまちのふところは? 16:00~17:30

・わがまち歳入の仕組みを学び「入るを量って出づるを制す」の意味を検討、更に分権にふさわしい歳入の仕組みのあり方を考えます。さらにこの講では地方税についてくわしく見ていきます。地方税は、市町村財政で一番大切な財源で、決算カードにもその内訳が詳しく載っています。また、地方税は、わがまちの住民や事業所から直接徴収するため、そのまちの特徴を示し出します。地方税の内訳の割合やそれらの推移から、わがまちの特徴を考えてみましょう。

### 第4講 なぜ借金をするの? 17:45~19:00

・地方債は、簡単に言うと借金なのですが、市町村歳入を考える上で外せない財源です。その額が現在から将来までの負担が身の丈を越えなければいいのですが、一歩間違えると自治体財政を圧迫する財源にもなります。地方債とともに赤字地方債の推移からわがまちの財政の体質を知りましょう。



6日(月)

### 第5講 わがまちの地方交付税に強くなろう 9:00~12:00

・地方交付税はすべての地方団体が一定の水準を維持することを保障する大切な財源で、基準財政需要額と収入額の差額で交付額は決定します。しかし、今まで様々な政策によって削減され、今後もさらなる削減が予測されます。この講ではこれまでの基準財政需要額と収入額の推移を振り返ると共に、「交付税で措置する」という意味について考えていきます。

### 第6講 目的別歳出からわがまちの財政の特徴を考えよう 13:00~14:30

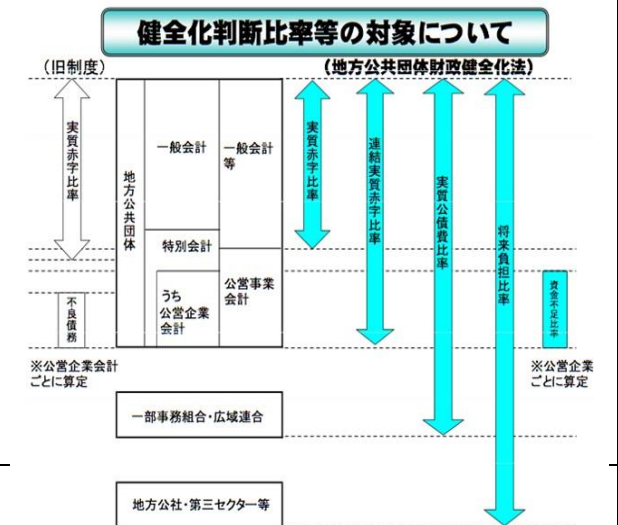
・目的別歳出では、歳出が「行政目的」に応じて区分されます。そのため、目的別歳出を分析することでこれまでわがまちがどの分野に力を入れてきたのかを把握することができます。目的別歳出の決算額や充当一般財源等の額を経年的に分析することで、わがまちの財政の特徴を明らかにし、今後どの分野に力を入れていくべきなのかを考えましょう。

### 第7講 性質別歳出からわがまちの財政の運営を考えよう 14:45~16:15

・性質別歳出では、歳出がその経済的性質に応じて区分されます。そのため、性質別歳出を分析することでこれまでわがまちがどのように財政運営をしてきたのかを点検することができます。わがまちの財政や他自治体の財政を分析することで、地方財政の側面からわがまちの持続可能な発展に何が必要なのかを考えましょう。

### 第8講 財政指標に強くなろう 16:30~17:30

・市町村財政をより深く理解するためには財政指標を読み解き、経年的に把握することが不可欠です。様々な財政指標を学び、わがまちの財政が余裕を持った自治体なのか、将来の財政負担がどのくらいなのかをつかみましょう。



7日(火)

### 第9講 財政健全化判断比率を正しく読み解く 9:00~12:00

・財政状況資料集には、財政健全化法に関連して、自治体の特別会計にも踏み込んだ指標等が掲載されています。これらの指標は総合基本計画における財政の達成目標に用いられることも多く、財政運営を考えていくためにその理解が不可欠です。財政健全化判断比率を正しく読み解く手法を学び、財政健全化法の生かし方を考えましょう。

### 第10講 わがまちの財政からみるいいところ・わるいところ 13:00~15:00

・これまでの講義を総括して、財政から見たまちの特徴について考えてみましょう。また、この講では似た産業構造・人口規模の参加者で集まってお互いの財政について語り合うグループワークをします。ほかのまちの財政状況はわがまちの財政状況を映し出す鏡になります。多くの鏡でわがまちの財政を映し出し、財政を振り返り、展望して様々な視点を考えましょう。





# Excelで学ぶ財政分析講座/歳入+歳出編

2017年  
2月5, 6, 7日

歳入・歳出を一貫して学び、財政が見える！

講座の  
ポイント

自分のまちをグラフで読み解く！

\* 講義の詳細は裏面に掲載

産業構造別・人口規模別分科会で学びを深める！

- ◆期 日 2017年2月5日(日)、6日(月)、7日(火)
- ◆会 場 富士電機能力開発センター(JR中央線豊田駅北口徒歩5分)
- ◆対 象 財政分析基礎講座を受講された方
- ◆定 員 30名(先着順)
- ◆参加費 45,000円(消費税込) \* 当研究所会員42,000円
- ◆宿 泊 希望者は同じ施設に宿泊できます。朝食付きで6,200円
- ◆持ち物 ①Microsoft Excel(2013・2010・2007)をインストール済みのノートパソコン。  
②10年分以上記入した分析表(入力用USBメモリーを事前送付します)
- ◆特 色 ①当研究所が提供するデータグラフ化機能付き入力シートで省力化を実現。  
②地方財政の見える化。財政を見る目を養い、伝える素材が手に入ります。
- ◆申込み 右記の申込書をFAXまたは、メールでお送りください。\* 申し込まれた方には事前に、データグラフ化機能付き入力シートを格納したUSBメモリーをお送りします。

受講者の声  
受講して、  
財政の全体像  
が少し見えて  
きたように  
思います

受講者の声  
基本的な数表  
グラフの作成に  
ついて、概ね理  
解  
できました

## ◇ 講師プロフィール



大和田一紘  
(おおわだ いっこう)

1943年、青森県弘前市生まれ。北海道立札幌南高校卒。東京学芸大学大学院教育学研究科修了。東京都自然環境保全審議会委員を6期12年、東京都環境科学研究所研究員、中央大学社会科学研究所客員研究員、埼玉大学と法政大学などを歴任。

現在、NPO法人多摩住民自治研究所理事、多摩学会と日本環境学会に所属、専門は環境教育、環境政策、まちづくり論、地方自治、地方財政。また『日経グローバル』に、「実例で見る自治体財政」を連載中。著書『習うより慣れろの市町村財政分析』(単著)、『市民による市民のための合併検証』(編著)、『広域連合と一部事務組合』(共著)、『市民が財政白書をつくったら……』(編著)

1989年、東京都江戸川区生まれ。NPO法人多摩住民自治研究所研究員。2012年度東京農工大学農学府共生持続社会学専攻卒業、2013年度東京農工大学連合農学研究科農林共生社会学専攻入学。

論文:「東日本大震災における復興に向けた防災コミュニティ活動とESD~気仙沼復興商店街の取り組みを事例に~」(日本環境教育学会研究・実践奨励賞受賞、2012年8月)。「教師が結ぶ地域の復興教育」月刊社会教育58(11)、2014。・所属学会: 地方財政学会、日本環境教育学会、日本社会教育学会



石山 雄貴  
(いしやま ゆうき)

## Excelで学ぶ財政分析講座歳入+歳出編 参加申込書 (FAX・メールでお送りください)

■氏名 \_\_\_\_\_

■領収書宛て名(名称) \_\_\_\_\_

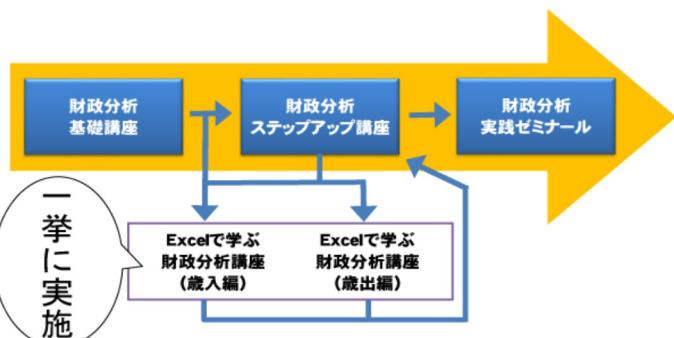
■住所 〒 \_\_\_\_\_

■電話 \_\_\_\_\_ ■FAX \_\_\_\_\_

■携帯電話 \_\_\_\_\_ ■e-mail \_\_\_\_\_

\* ○で囲んでください。 ■ 宿泊 希望する 希望しない ■ 割引 当研究所会員

## 財政分析講座フローチャート



増刷! 市民版財政白書  
受講生が作成に参加

— 大阪府守口市

主催: NPO法人多摩住民自治研究所  
〒191-0016 日野市神明3-10-5エスプリ日野103 TEL 042-586-7651 Fax 042-514-8096  
E-mail tamajitiken1972@space.ocn.ne.jp http://www.tamaken.org